

[セカンドライフは沖縄で]

沖縄 vol.7

Live in Okinawa

に住む

2008 Spring vol.7

945円

キューバに学ぶ農的沖縄生活

「琉球薬膳」王家の食養生

エコ素材『月桃』物語

日本銀行 那覇支店 前支店長

曾我野 秀彦 氏 インタビュー

オキナワ歴史散歩：那覇市首里

沖縄最新物件情報

海と湖と緑に抱かれた地に 新しいリゾートの街が生れる

読谷プロジェクト① 古き良き文化と歴史の地、読谷村を舞台に始まる開発



福村俊治氏
一級建築士。team DREAM
代表。沖縄県平和祈念資料館、
県福祉センターや住宅を設計

新たに注目を集める読谷村
多様なニーズに応える好立地

田崎（以下敬称略）…いよいよ大規模なプロジェクトが始動するわけですが、御社が本島の中で特に読谷村のこの敷地を選ばれた理由はなんですか。

松田…まず、沖縄本島におけるリゾート

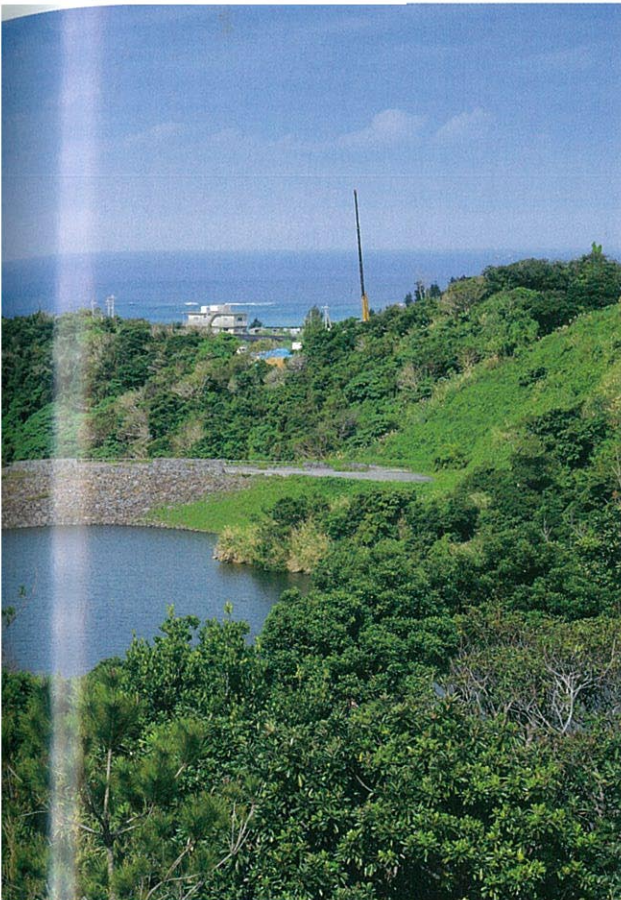
ト開発において、恩納村がすでに飽和状態にあるという現状があります。元々南北に細長い形状の地域であり、ホテル建設用地となると限られた区域になるからです。では名護以北はどうかというと、空港から遠すぎるのが問題になります。つまり、リゾートエリアは南に向かって拡大していく傾向にあるわけです。読谷村



佐々木末男氏
総合広告代理店株式会社ワイド
代表取締役社長として多くの大規模プロモーションを主導

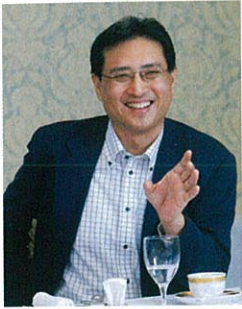
は基地により開発が遅れたため、昔の沖縄の素晴らしい自然環境が残っている一方、那覇空港から45分足らずという地理的利便性もあります。豊かな自然を残しながら、スーパーや病院、学校など生活に必要な施設も揃っているという好立地です。中でも海沿いや、海を望む高台の地域は、県外からの移住者向けに今後伸びが期待されています。

田崎…読谷村はどちらかというとマリンレジャーのリゾートというより、座喜味城跡、やちむんの里など、文化・史的な施設も多いですね。そういうところが今までにない新しい魅力だとも言えますね。



予告広告

販売を開始するまでの間は、契約・予約受付・申込順位確保は一切出来ません。予めご了承ください。(販売開始予定時期：平成20年5月初旬頃)



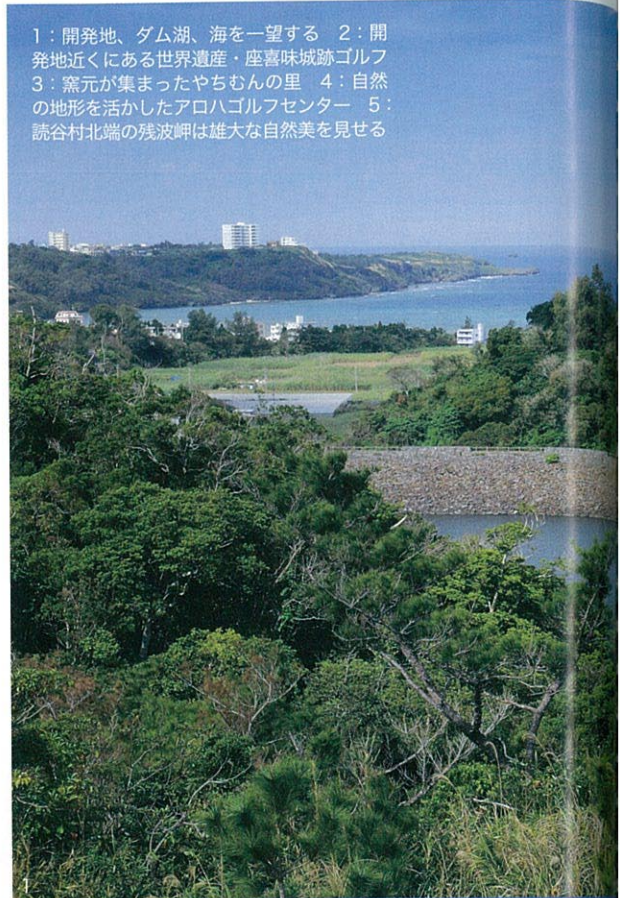
松田孝之氏
株式会社日建ハウジング取締役営業部長。県内広域の不動産を扱う

田崎…沖縄におけるこのプロジェクトの意義・コンセプトなどを伺わせてください。
福村…私は滋賀県出身で、20年ほど前から沖縄で仕事をしていますが、初めて沖縄へ来た時に町の景観や気候風土が本土と大きく違うことに魅力を感じました。本土の町はどこへ行っ

かつて存在した沖縄らしさが経済発展とともに失われた

でも没個性的な町並みが見受けられます。住宅メーカー等の同じ形式の家が建ち並び、駅前開発の仕方にも型にはまっています。それに比べて、私が来た当時の沖縄は全く異質でした。東京や大阪ではなく、こうした気候風土の全く違う土地で設計の仕事にチャレンジしたい、そう考えてこちらへ来たわけです。ところが振興策などにより、沖縄が経済的に発展していくに従って、沖縄の良さが急速に失われていくのを目の当たりにしました。美しい海を埋め立てて住宅地や工業用地が造成され、きれいな恩納村のビーチ沿いに景観スケールを無視した巨大なホテルが建設されました。米軍住宅が立ち並んでいた天久地区が、区画整理されて新都心

という名前になった途端に、本土のどこかの町と変らない景観になってしまいました。つまり復帰後の沖縄が目指したものは本土化であって、逆に沖縄の風土に根ざした良さを否定し、消去してきたという経緯があると私は考えます。今移住者が沖縄に年間1万人2万人と来ますが、その中には、青い海、青い空、あるいは竹富島に見られるような赤瓦の町並みのイメージを抱いている方が大勢いるでしょう。彼らが憧れを抱いているのは、本土とは違う気候風土や町並み、南国的な暮らしだと思えますが、それが現実には無くなってきています。更に情報化社会が住宅の本土化に拍車を掛けているようにも見受けられます。

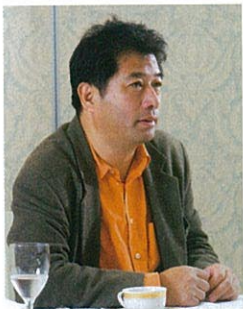


1：開発地、ダム湖、海を一望する 2：開発地近くにある世界遺産・座喜味城跡ゴルフ 3：窯元が集まったやちむんの里 4：自然の地形を活かしたアロハゴルフセンター 5：読谷村北端の残波岬は雄大な自然美を見せる



気候風土にもう一度目を向ける 快適な南国暮らしがそこにある

福村…温暖で亜熱帯の沖縄には、まだ素晴らしい自然が残っています。本土のような高気密・高断熱の閉鎖的な住宅よりは、沖縄の青い海や空、濃い緑の山々の中を吹く、心地よい風が通り抜けるようなオープンな造りが大切です。本来、高気密・高断熱というのは北欧やカナダなど寒冷地の住宅の考え方ですから、沖縄の気候風土向けではないですね。
松田…先生の設計される家は外と中の区別の無い、室内と外界との連続性を感じさせるものが多いですね。
福村…その方が冷房もいらぬし空気清浄機もいりません。だから沖縄の気候風土に合った住宅や町を作るべきなのです。沖縄に憧れて来て、便利さを求めて新都心にマンションを買う。すると全く東京基準の設計であって、ユニットバスのお風呂から海でも見えるかと思うとそうでもない、というのが現実です。



田崎聡
『沖縄に住む』編集長。沖縄の文化・経済情報を発信するため、数々の雑誌・書籍を手掛ける

沖縄のロケーションを生かした 新しいライフスタイルを提案

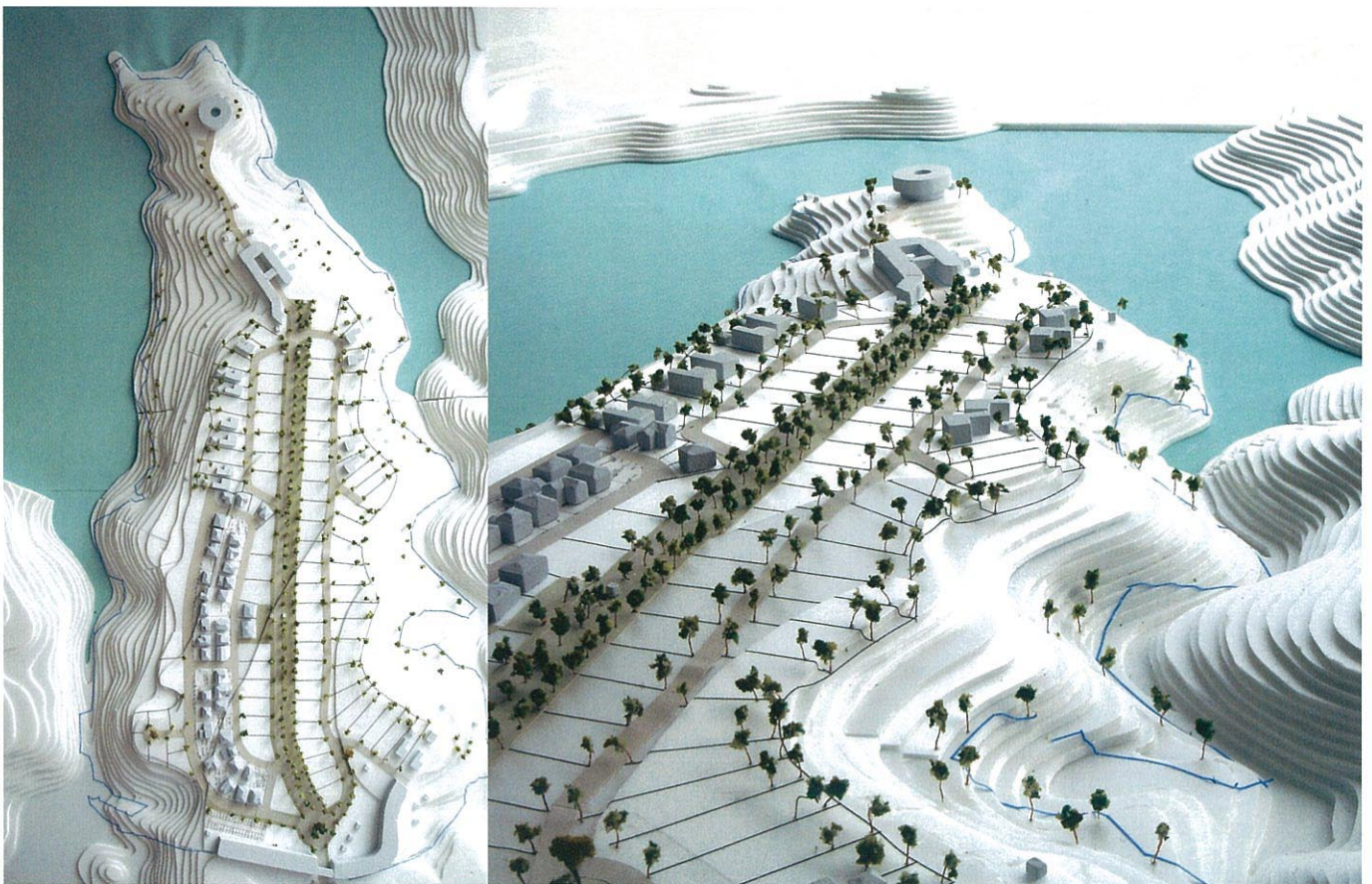
佐々木…私の知り合いにも、いわゆる団塊世代と言われる人たちがいますが、わざわざ移住してきて東京と同じようなマンションを買って住んでいます。結局沖縄に居ることの意味を探しきれずにまた東京へ戻って行きます。住宅を購入するとなると、買い物は便利か、学校は近いか、病院は、といったことを優先に考えて、市街地の慣れ親しんだスタイルの住まいを選ぶので、どこに住んでも同じような暮らし方になってしまうというのが実態ですね。だからこそ今、県内、県外の方々に新しい住まいを提案したいのです。

福村…今まで仕事の中では沖縄のリゾートを思わせる家を作ってきましたが、一方で、沖縄のリゾートに反するような、本土と同じような建物がどんどん建設されていることを非常に残念に思っていました。そんな中、従来とは違う価値観を持った日建ハウジングとの出会いがあったわけです。ロケーションを大事にするという私の理想と彼らの考え方が合致して、設計の立場からずっと手掛けたかった新しい沖縄の、沖縄に合った街づくりに取り組みることになりました。街づくりというのはお役所主

導型の、本土の標準設計に準じたものになりがちですが、今回のプロジェクトは大規模なだけに、面白いチャンスになると考えています。こういうものを求めている人も移住者の中には大勢いるはずですし、地元でも経済性や便利さよりも重視すべきものがあると考えている人が増えてきています。今までも、本来の意味でのリゾートらしいマンションや住宅への需要はあったのですが、供給は非常に少なかったんですね。今回日建ハウジングがそれを供給しようということですから、私達も一緒に実現しようとして取り組んでいるわけです。

佐々木…県内で一番取り沙汰されている埋立地は別として、今までに例をみない大規模な開発になるわけですが、単なる宅地、住宅商品の販売ではなく、生活を提案する、暮らし方そのものをコンセプトとして打ち出していくプロジェクトになると考えています。経済性とか利便性を住まいに求める方、自然と共生するエコロジーな暮らし方を目指す方、そういう双方の方々に賛同いただいで、一緒に街づくりをしていきたい。読谷から新しい沖縄らしい町並み、そして暮らし方を発信していきたいと考えています。

田崎…どうもありがとうございます。



予告広告

販売を開始するまでの間は、契約・予約受付・申込順位確保は一切出来ません。予めご了承ください。(販売開始予定時期：平成20年5月初旬頃)



**沖縄らしさと
リゾート空間**

一級建築士 **福村俊治**

沖縄の冬は、1月の末に桜が咲き10℃をきると「この冬一番の寒さ」と地元紙に載るほど温暖だ。逆に夏は33℃以上になることは少ないが、陽射しと雨が強く、いつも海風が吹いている。つまり、大きな木陰や庇の下などの空間はとても心地よい。今、沖縄らしさが街や建物に問われている。私は赤瓦やシーサーや琉球石

灰岩だけが沖縄らしさでないと考えている。むしろ、前述した空間こそが、沖縄らしさであると考えている。だから住宅でも大きな建物でもかならず広い半戸外の空間を設けることにしている。そこにいつも人々が集まり、催しが始まる。

この読谷プロジェクトの敷地の中央には幅員20m長さ400mの木陰

略歴
 1977年 関西大学工学部建築学科卒業
 1979年 同大学修士課程修了
 1982~89年 原広司+アトリエ・ファイ建築研究所
 1990年 空間計画 VOYAGER 設立
 1997年 team DREAM 設立



那覇空港から車で約45分

**地元ゆえに沖縄への思いは熱い
沖縄ランドスケープの展望を期待**

数々のリゾート計画が進行する中、地元で暮らす我々には、またリゾートの名の元に海岸線を埋め立てるのだろうと、諦めの境地で落胆さえ隠せないものである。今回の読谷プロジェクトのコンセプトは、ここが根本的に違うのである。この思いを払拭するがごとく、地元の企業による、地域密着型のライフプランが機軸になっている。熱帯の緑が活きづき、環境に配慮され、持続可能なスタイルとはいかに。初の沖縄ランドスケープ構想を期待せずにはいられない。

の並木道があり、並木道の終点には湖と海が同時に見える集まりの場がある。各住宅にも、大きな庇のかかった広いテラスと木陰がある。

《読谷プロジェクト開発企業DATA》



【事業主】株式会社 日建ハウジング
 〒900-0002 沖縄県那覇市曙 2-10-24(森山ビル 2F)
 TEL:098-861-4327 FAX:098-860-8588
<http://www.nikken-inc.jp/>

【設計】team DREAM
 〒900-0002 沖縄県那覇市曙 2-14-12(名建ビル 4F)
 TEL:098-866-5038 FAX:098-866-5043
<http://www.dream-archi.com>

【販売代理】有限会社 八重瀬
 〒900-0002 沖縄県那覇市曙 2-10-24 2F B-2
 TEL:098-860-8425 FAX:098-860-8426